

公民連携箕面観光戦略会議 第1回全体会議 議事要旨

箕面市観光協会

日時:令和4年 7月 11日 19時00分~21時00分

会場:箕面文化・交流センター 地下1階 多目的室2・3

参加者:会場参加者24名/オンライン参加者3名(公民連携箕面観光戦略会議 第1回全体会議 出席者名簿 参照)

1. 開会の辞

司会(事務局)より、開会が宣言され座長の就任までの間、事務局が進行をおこなった。

2. ご挨拶

主催者である箕面市観光協会会長の小枝正幸、来賓者の上島一彦箕面市長より挨拶があった。

3. 自己紹介

出席者及びオンライン出席者より自己紹介をおこなった。

4. 事業協力者紹介

観光戦略策定業務の事業協力者であるハーツベリー共同企業体より、挨拶があった。

5. 座長の選出

公民連携箕面観光戦略会議開催要領第4条第1項に基づき、委員の互選により地域活性化伝道師の柚木委員が座長に選出された。また、同項に基づき柚木座長より、副座長に箕面市観光協会会長小枝委員と箕面商工会議所副会頭松出委員が指名された。

6. 議事

(1) 柚木座長より公民連携箕面観光戦略会議を進めていく前に委員になってから箕面市内及び周辺を回って感じたことについて説明をされた。

●箕面市内であっても全然違う地域で同時にイベントを開催していて、それぞれが開催していることを知らなかったというケースがある。イベントを開催するのであれば、1+1が3や4の効果となるために、点と点から線そして面につなげていけるように、市内でどんなイベントが行われているのか、どれくらいの予算を使ってどれくらいの人があるのかを把握し検証できる体制が早急に必要である。ストーリー性をもった連続性のあるイベントの開催が今後の課題である。

●車で観光を考えた時に、場所・方向・所要時間のサインが不明瞭である事例が見受けられ、観光地としてのサイン計画(標識や看板など)を考えることが大事である。観光の先にはまちづくりがあり、不明瞭なサインが渋滞につながることもある。また、多言語化までは難しくても英語は必要と考える。バス停・商店等の看板・ポスター等についても定期的な入替掲示により情報を適切に更新することが必要。

- リピーター含む観光客の取りこぼしをなくすことも大切。高齢者や障害のある方も観光しやすいインフラ整備も必要になってくる。
- 現在ばらばらで行っている情報発信を一元化する情報プラットフォームも必要である。この観光戦略の検討の中で方向性が見えたら同じベクトル・同じ目線で発信できるようにしていきたい。

(2)ハーツベリー共同企業体より「公民連携箕面観光戦略会議第 1 回全体会議検討資料」に基づき説明をおこなった。

各委員からのご意見

- 市内商業関係者であるが、観光客と直接接する機会の少ない、地域住民をターゲットとした商業関係者はいかにして、観光へ関わっていけばいいのか、この会議を通じて考えていきたい。
- 観光地の魅力付けを行う際は、提供するアセットがあるからサービスを提供しようという考え方ではなく、根拠となるデータから推測した上で、どんな魅力をどう発信していくのか考えることが必要である。また課題や問題点は多くあり、あれもこれも取り組みたくなる中でいかに取捨選択し、何に特化して取り組むのが重要になってくる。
- コロナ禍で旅行会社と共同で事業に取り組み実績を上げることができた。そういったノウハウや、全国の独自の取り組み事例を取り込み、箕面市内の観光促進をしていくための情報共有を進めていきたい。
- 物を買う目的で来た人がせっかくだからと観光していくこともあるので、例えば生活産品を扱っていても観光と何かしらの接点が生まれると思う。
- 天然記念物でもある猿の存在を、観光の一つとして見ていただけるような仕組みづくりを行ってはどうか。
- アート関係のイベントを長く続けることによって、徐々に中身の周知・拡充をはかってきた。アートツーリズムの力を痛感しているので、このイベント単体だけではなく、今後は皆様とも相互に連携していきたい。
- 日帰り観光だけでなく、泊まりがけの観光についてもしっかり考えていきたい。
- 当会議のメンバー構成について、金融機関等の参加を促してはどうか。
- 箕面市が包括連携協定を締結している民間企業等にも、参考となる意見を伺ってはどうか。
- コロナ禍だが現在韓国・タイの観光客が、さっそく来日している。インバウンドは既に戻ってきている。これから万博等に向けてもインバウンド需要を戻していきたい。
- 行政と連携し、観光と商店の活性化を目指していきたい。
- 大阪において箕面はどのような立ち位置なのか。都市ブランディングの必要性がある。他地域との差別化をはかりながら長いスパンでのブランディングをおこなう必要がある。(そのブランディングに共感される)観光客を呼び込むことで、経済効果を住民に還元し、SDGsにつながる視点を持って持続可能な観光に繋げていく。

- 持続可能性も含め、箕面らしさがあるものを戦略に活かしてはどうか。生物多様性が豊かな森が沢山あり、都心からすぐにアクセスできる部分を観光戦略のポイントの一つにしてはどうか。
- 自然公園は保護と利用において、もろ刃の剣という部分もある。そこは押さえて観光戦略の一つとして考える必要がある。

(3)決議事項

柚木座長より各委員へ、以下のような提案があり、全体の賛同を得た。

コロナウイルスなど、時代が取り巻く環境の変化により戦略が変わってくるため、今回の観光戦略については「第1次箕面観光戦略」という事で進め、見直しが必要なタイミングで「第2次箕面観光戦略」の作成をしていくということで良いか。

以上

●公民連携箕面観光戦略会議 第1回全体会議 出席者名簿

分野	団体・組織名	全体会議	備考
有識者	地域活性化伝道師(内閣府登録)	柚木健 様	座長
事業者 事業者	箕面商工会議所	松出末生 様	副座長
	箕面物産商組合	奥野輝夫 様	
	みのお滝道本町会	樋口貴之 様	
	みのおサンプラザ名店会	堀戸由紀夫 様	
	阪急電鉄(株)	小紫美香 様	オンライン出席
	阪急タクシー(株)	中村慎治 様	
	銀河交通(株)	中村剛 様	
	(株)阪急交通社	佐場淳司 様	
	(株)ディー・エヌ・エー	小林篤 様	
寺社関係者	勝尾寺	小嶋隆文 様	
	西江寺	小倉叡裕 様	
まちづくり団体 観光関係団体	箕面市観光協会	小枝正幸	副座長
	箕面まちづくり協議会	福西治 様	
	箕面FMまちそだて(株)	藤井栄治 様	
	箕面公園管理事務所	木村義行 様	
	箕面青年会議所	高橋諭吉 様	
	箕面観光ボランティアガイド	澤村修 様	
	みのお山麓保全委員会	高島文明 様	
	箕面市音楽協会	前田一成 様	
	箕面の森アートウォーク実行委員会	中谷雅代 様	
行政関係者	(公財)大阪観光局	塩見正成 様	オンライン出席
	池田土木事務所	服部博之 様	
	北部農と緑の総合事務所(みどり環境課)	穂積佳子 様	オンライン出席
	箕面警察署(交通課)	桂健政 様	
	箕面市地域創造部	小山郁夫 様	
来賓	箕面市長	上島一彦 様	